

悠久

第 34 号



STUDENT EXCHANGE in 大連 旅順博物館前にて

本号の内容

- | | | | |
|--------------------------|--------------|-----------|--------------------|
| ① 日中交流の試練を超えて | 法務大臣・日中友好会館 | 会 長 | 江 田 五 月 |
| ② 岡山県立和気閑谷高等学校の中国交流 | 岡山県立和気閑谷高等学校 | 教 頭 | 田 中 広 矛 |
| ③ STUDENT EXCHANGE in 岡山 | 大 連 第 一 中 学 | 二 年 級 | 趙 欣 婷 |
| ④ 上海万博と九寨溝・黄龍の旅 | 岡山市教委生涯学習課 | 協 議 会 会 員 | 宗 政 富美男
赤 松 千 壽 |

February
2011

日中交流の試練を超えて



法務大臣・日中友好会館 会長

江 田 五 月

昨夏の参院選で改めて議席をいただいた直後、参議院議長任期が無事に終了しました。ところが一息つく間もなく、新しい任務をいただくことになりました。その最重要のものが、財団法人「日中友好会館」の会長です。法人改革に直面し、理事会での中国側理事の皆さんとの議論は、ときに緊張した場面もあり、なかなか大変ですが、長い歴史を有する会館の活動をさらに進展させるため、全力を尽くします。

昨年後半は、私たち日中交流に取り組むものにとっては、なかなか厳しい試練の年でした。上海万博訪問や北京から全土に分散する青少年交流など、会館が実務を受け持つ多くの行事が予定されている中で、尖閣諸島沖での船の衝突が起きました。万博訪問は延期となり、私が総団長を務める交流計画も一部変更となりました。

十月十八日の出発直前にも関係者と協議し、こういうときだからこそ実行しようと、私が決断しました。北京で楊潔篪外交部長（外務大臣）と会談し、一衣帯水の両国だから小競り合いが起きるのは当たり前で、それを乗り越えて友好関係をより強固にして行くために努力しようという意見一致したときには、訪中を決断して本当に良かったと思えました。そして、その後はその方向に従った展開となりました。

実は八月下旬にも訪中しました。これは、議長時

代からのお約束で、上海万博を見に行つたもので、短時間で日本館や大阪館を含めて多くのパビリオンをまわることができました。中国の皆さんには将来に大きな自信を与え、外国からのお客さんには中国の力量への理解を進め、国際社会の相互理解と信頼醸成に大いに役立ったと思います。その後、さらに足を伸ばして山東省を旅して孔子廟を訪ね、泰山にも登りました。山頂のホテルに宿泊し、早朝に日の出を拝める場所に移動しました。霧が沸き起こり心配しましたが、見事に晴れ、眼下に真っ赤な太陽が姿を現しました。燃える火の玉を両手でつかむ姿がカメラに収めて、悦に入りました。

国際社会は、二十一世紀に入ってから、従来からの課題に加えて新しい私たちの課題が登場し、難問山積です。自然の超克というヨーロッパの文明観と異なり、東アジアでは自然に抱かれてその恵みを享受することを尊びます。これからの世界は、こうしたアジア的文明観が大切になると思います。これを共有する日本と中国が、新しい世界のあり方に対して共同して指導力を発揮していくことは、何にも増して大切なことだと思います。

新年早々、図らずも菅改造内閣で法務大臣に就任いたしました。非力ではありますが、全力を尽くす覚悟です。今年も皆さんのご協力をいただきますようお願いいたします。



岡山県立和気閑谷高等学校の中国交流 (曲阜市第一中学・上海市嘉定区第一中学との 交流を中心として)

岡山県立和気閑谷高等学校

教頭 田中 広 予



曲阜市第一中学 校長祝辞

そのような情勢の中、曲阜市第一中学から校長先生をはじめとする五名の先生方が、創立記念式典に出席してくださいました。教務課長の孔先生は、孔子の第七十六代目の子孫にあたる方でした。残念ながら、嘉定区第一中学は諸般の事情で今回は出席できません。

本校は、昨年の十月七日に創立三百四十年記念式典を挙行了しました。昨年は中国と色々な軋轢が生じて政情が不安定となり、全国的に諸行事が相次いで中止となりました。

そのような縁で、孔子の故郷である曲阜市と、江南地区で一番古い孔子廟があり、なおかつ和気町が友好関係を結んでいる上海市の中学校(日本の高校に該当)と友好関係を結ぶことになりました。

本校は、日本最古の庶民の学校である「旧閑谷学校」を源流とし、儒教の精神を脈々と受け継いできました。現在も、「旧閑谷学校」で毎年十月第三土曜日に開かれる釈菜(孔子をまつる祭礼)には、本校教員が祭官として参加します。また、毎月、全校をあげて論語朗誦も行っています。

岡山県立和気閑谷高等学校では、一九九九(平成十一)年九月に中国の曲阜市第一中学・上海市嘉定区第一中学と友好協定を結び、以後二校との交流を中心として、異文化理解教育・国際理解教育を行っています。

曲阜市は、孔子の生誕地として有名で、三孔と呼ばれる孔廟(孔子の神霊を祭る霊所)。紫禁城、岱城と並ぶ中国三大宮廷建築の一つとされ、中国の代表的な建築物・孔府(孔子の直系の子孫が代々住み、かつ役所として使用していた所)・孔林(孔子及びその子孫の墓)などがあり、一九九四年にユネスコの世界遺産に登録されています。

曲阜市第一中学とは、三年に一回、本校から訪問団を派遣して、交流を図っています。訪問団は、全校生徒から第一次・第三次の審査を経て選ばれた生徒五名が、引率教員(校長もしくは教頭以下四名)とともに曲阜市等を訪れます。

今回は、昨年の八月三日から四泊五日の日程で訪問しました。



意見交換会



記念品交換



曲阜市第一中学の歓迎セレモニー

でしたが、心のこもったメッセージを送ってくださいました。この場をお借りして、両校に心よりお礼を申し上げます。



中国館

今回の訪問は、校長を団長とした引率教員四名、生徒五名(三年生二名・二年生二名・一年生一名)、同窓会から自費参加三名の計十二名が参加しました。初日は、午後に岡山を出発し、上海經由で済南へ移動し、二十二時半頃ホテルに到着しました。

二日目は、曲阜市第一中学を訪問して、創立三百四十年記念式典への招待状を手渡すとともに、意見交換会や食事会などで交流を行いました。非常に活発な意見交換会・和やかな食事会となりました。

三日目は三孔(孔廟・孔府・孔林)等を見学し、在りし日の孔子の姿を偲ぶとともに、本校のルーツにたどり着いたような感慨に浸っていました。

四日目は、ちょうど開催中であつた上海万博を見学しました。生徒は、中国のスケールの大きさに圧倒されていたようです。また、内陸部と沿岸部の経済格差、大都市の中に混在する光と陰、あるいは中国人の国民性等を実際に見聞きしたことで、



孔子墓の前で

国際理解・異文化理解に大いに役立ちました。

嘉定区第一中学との交流

式典には参加できなかった嘉定区第一中学との交流は、昨年十二月十四日から三泊四日の日程で実施した二年生の修学旅行で実現しました。

今回の修学旅行は、生徒三十八名・引率教員六名が参加しました。

一日目は、午後の上海便で岡山から上海へフライトしました。ほとんどの者が初めての外国旅行で、緊張気味のようにでした。浦東国際空港駅に徒歩で移動し、リニアモーターカーに乗って時速四三〇kmを体感しました。その後、バスで嘉定区のホテルに移動し、嘉定区第一中学の先生方（五名）との夕食交流会に臨みました。初めて食べる料理も多く、とまどっている生徒が多く見られました。初めての経験ばかりで緊張した様子でした。

二日目は、修学旅行のメイン行事である嘉定区第一中学との交流会です。学校に到着後、校内の施設を案内されました。大学かと思うような広大な敷地に多くの施設が作られ、非常に恵まれた環境でした。

校内見学の後、交流ホールに移動し、



「孔子と弟子たち」の漢詩劇

嘉定区第一中学の康校長による歓迎の挨拶で交流会が始まりました。そして、両校の生徒代表による挨拶、記念品の交換の後、



和気閑谷高等学校校歌斉唱

パワーポイントを使って両校の紹介をしたり、劇や校歌を披露したりして、相互理解を図りました。生徒は二人一組でペアとなり、行事の合間にも何とか苦

勞しながら、意思疎通を図っていました。両校合同の昼食会や太極拳の講習会なども行いました。昼食会では、本校の生徒が日本から持参した折り紙で鶴の折り方を教えたり、連絡先の交換をしたりしていました。太極拳の講習会では、見よう見まねでできないながら、一生懸命頑張っていました。最後には、校舎の前で全員で記念写真を撮り、再会を約していました。わずかな時間ではありましたが、心のこもった歓迎を受け、大変有意義な交流会ができました。日中関係が悪化した情勢の中で、明るい未来を見た思いました。

この日は朝から冷え込みが強かったのですが、記念写真を撮っている頃から雪がちらつきはじめ、ホテルに着いたときには辺り一面の銀世界でした。数年ぶりの大雪とのことで、とても幻想的でした。三日目には、江南地方でもっとも古い

孔子廟（八百年の歴史を誇る）と、そこに併設された科挙博物館の見学をし、「旧閑谷学校」から本校に受け継がれている儒



太極拳講習会



孔子像

教の精神に触れるとともに、中国文化の一端に触れることができました。

その後、豫園商場へ移動して、中国庭園を見学しました。日本庭園との共通性

や異質性を、しっかりと学びました。また、班ごとに別れて買い物をしました。中国の商人と直接交渉するという体験は、生徒にとって大変なことでしたが、社会の厳しさを知るうえでは非常に有効だったと思います。

さらに南京大路では、日本語を勉強する中国の大学生がガイドにつき、班別自主研修を行いました。生徒は、初めての外国で教員もいなくて不安だったようですが、何とか自分たちだけで班ごとの目標を達成することができました。

夜には、黄浦江ナイトクルーズを楽しみ、大都市の幻想的な風景に酔いしれました。

四日目は、六時に起床して空港に向かい、九時三十分の便で一路岡山へ。生徒にとっては、何もかもが初めての経験で、すべてが貴重な勉強でした。

現在は、インターネット等の発達でもすぐに知ることができますが、やはり自分で実際に体験するということは、千金の重みがあります。この貴重な経験から隣国への理解を深め、世界へ広げていくきっかけにして欲しいと思います。そして、三校の生徒が中心となって良好な日中関係、さらには国際関係を築いてくれることを、切に願っています。

生徒の感想文（抜粋）

私は、今回の中国訪問でたくさんのことに驚き、また関心を持った。中国へ訪問する前の印象は、あまりよい印象がなかった。しかし実際に訪れてみると、人口が多く、経済発展が目に見えてわかり、（中略）中国の文化の偉大さを感じることができるようになった。

特に、今回訪れた曲阜市第一中学の生徒は、英語がとても上手だった。中国では、小学校から英語教育を受けるそう。日本の学校も、中国のように小学校から英語を習うべきだと、私は思った。そうすれば、今の日本より国際関係に強くなることができると思う。

また、曲阜市は人口が六十万人にも関わらず、高校が二校しかないそう。そのため、中国の高校生の学力のレベルはとて高いそう。人口が多く学力の高い中国は、これから社会が大きく変わってくると思った。

しかし、好印象だけでなく、私が想像していた悪い面も見られた。日本ではあたりまえであるマナーであっても、中国ではできていなかった。（中略）このようなマナーを改善していけば、きっと今よりもより素晴らしい中国になれると思う。

（中略）今回、代表として訪問することができ（中略）、実際に自分での場に行き、体験し、肌で感じるこの大切さを改めて感じた。中国訪問は、私にとって印象深く、勉強になり、またこれから生きていく中で大切なことを考えさせられた良い体験であった。（後略）

STUDENT EXCHANGE in 岡山 2010

大連第一中学生の訪日日記

岡山県日中教育交流協議会が、財団法人福武教育文化振興財団の委託を受けて実施した日中青年交流事業「STUDENT EXCHANGE」2010は、岡山県の高校生と大連市第一中学との間で行った。

田宏賓大連一中弁公室主任を団長とする、引率者二名生徒九名の訪日団が来日したのは平成二十二年九月三十日で、尖閣問題が起こり、日中の関係が大変厳しい状況になっていた時である。

当時は、多くの交流が中止され、訪日も危ぶまれていた。来日後も報道関係者等が注視し、緊張を強いられる交流であったが、訪問を快く引く受けてくださった岡山朝日高校やホームステイ先家庭など、多くの方々のご理解とご支援のもと、沢山の友情と思い出を残す素晴らしい交流となった。その様子を、招聘生徒の日記で紹介する。

私の訪日日記

大連第一 中学二年
趙 欣婷

九月三十日（木）一日目

午前七時 私たちは時間通りに空港へ集合し、すぐに生まれ育った土地を離れた。飛行機が地面を離れるその瞬間から、日本の旅が始まった。

十二時三十分頃 広島に到着し、バスに乗って岡山へ向かった。途中、私は些細なこともできるだけ捉えるように努力し、自分の頭のなかで想像した日本の姿を補充しようとした。日本のことをすごく知りたい。日本の全てが強く私を引きつける。

二時間程して、とうとう岡山シティホテルへ到着した。荷物を下ろしてすぐに私たちは外へ飛び出し、日本の街を歩き、逸品ぞろいの商品を眺めた。夜には、日本に着いて最初の食事だ。日本食は繊細で、味は言うまでもない。

十月一日（金）二日目

正式な訪問はこの日から始まった。朝日高校、そこで、私はパートナーの万千子を知った。まだ車のなかにはいたときから、私は目立つ彼女を見ていた。一見か弱そうに見えて、実は運動ができる、バスケットボー



岡山朝日高校歓送会・管弦楽演奏

ルは特にうまい女の子だ。会ったばかりの時は、私たちは何を話しているかわからず、でもたしかにお互いの目に友好の気持ちがあることははっきりとわかった。

私は彼女の案内で学校を見てもらった。特徴のある学校で、課外活動が豊富多彩だ。とても羨ましい。日本の学生はみんな自分でお弁当を持つてくる。あなどってはいけない、みんなのお弁当はとてもすてきだ。

午後、英語の授業を受けた。私は日本語が解らないけれど、日本の授業はとても規律正しい。学生はみんなまじめにノートをとっている。授業は五十五分で、この時初めて知って、本当に驚いた。日本の高校はゆったりしていると思っていたので、一つの授業がこんなに長いとは思わなかった。しかしながら、みんなとてもまじめで、とても長い文章を、先生がひとつひとつ説明し、学生は几帳面にノートをとっている。この



ホームステイ家族と対面
(中央が著者)



歓送会・訪日団合唱

場面をみて、私はすぐに自分のことに思い至った。たった四十五分間の授業でも、始めから最後までおろそかにしないでできているだろうか？これからはやろう。

そして、最後に私たちは楽団とダンスチームのすばらしい発表をみた。日本のダンスはとても躍動感があり、輝いていた。元気のある私たちの年代にふさわしいと思った。

十月二日(土) 三日目

初めてホームステイ家族と面会した。日本の学生たちが車に乗った時から、私はずっと誰が私のパートナーなのかと思っていた。私の目の前の明るい女の子を見たとき、私には一種の予感があった、彼女だ、と。

丸川美咲さん、私のパートナー。

車の中で私たちはたくさんおしゃべりした。彼女の英語はとてもよく、とても順調に交流できた。おしゃべりの中で、彼女がいつもたくさん



歓送会・日中生徒記念撮影

交換生を受け入れており、とても経験があることを知った。心のなかでラッキーだったと思った。彼女はLADYGAGAが好きで、何カ国かを訪れたことがあり、私よりも一歳年下だが、私よりも大人びていて、ずっと自立していた。

私たちは一緒に瀬戸大橋、倉敷美観地区を訪れ、ずっと彼女は私の面倒を見てくれ、私はとてもリラックスできた。

午後には家族とも会った。遠くから彼女のお母さんを見て、私はとても厳格なお母さんかと思ってしまった。内心少し緊張した。けれど、車に乗るとき、お母さんは親切に私の苗字を聞いてくれ、一緒にいくつかの中国語を話した。そしてすぐに私はリラックスした。実はお母さんはとても優しい、気遣いのある方だった。夜になって、美咲のお父さんにも会った。彼女はどちらかというと

お父さんに似ているようだ。彼はゴルフが好きで、やはりとても優しく、劉翔のサインを見せてくれたりした。

美咲が二人の友達を呼んで、私たちは遊びに出た。彼女の友達はとても明るく、私たちは意気投合した。夜になって、美咲のお母さんが心をこめて、晩御飯を準備してくれた。火鍋に似たもので、また日本のお寿司も食べた。晩御飯のあと、私たちは和服を着て、日本の伝統的少女になった。私の日本でやりたかった最大の望みがかなえられた。私の部屋は彼女のお姉さんの部屋だった。彼女のお姉さんは今外国にいるらしい。感嘆してしまう。

十月三日(日) 四日目

午前には私たちはプリクラを撮りに行き、買い物をして、日本のマクドナルドで食事をした。そこで、ご飯を食べ終わるとき、みんな自分の食べたものをきれいに片づけ、包装紙すらきれいに畳み、まとめてゴミ箱に捨てていた。しかもゴミ箱は分別されている。強く印象に残った。

午後、私たちは神社へ行き、おみくじをひくと吉だった。

夜になって、送別会。私たちはお別れをしなければならぬ。私たちは一緒にゲームをして、一緒に『朋友』を歌った。涙が出そうになるが、ぐっとこらえた。みんな泣いていな

いのに私だって泣きたくない。私はただ最後の夜を大事にしたいと思った。ホームステイのお父さん、お母さんも来た。ご飯を食べるとき、美咲のお父さんが何度も私たちのテーブルへ来てくれ、たくさん食べなさい、と言ってくれた。終わりのない宴会はなく、ついにお別れのときがきた。美咲は泣いて、私たちは抱き合った。お父さんとお母さんも日本にまたおいでと言ってくれた。最後になり、先生にせかされ、私たちは手を振ってお別れをした。

十月四日(月) 五日目

朝から私たちは新幹線に乗って、岡山を離れ、大阪へ行った。

まだ日本にはいるが、前日までの浮き浮きとした気持ちはなかった。まわりのみんなも同じだ。岡山からどんどん離れていくのを見ながら、私は決意した。これからもっと勉強をして、できることなら日本で最も良い大学で勉強するのだ。そして私たちは大阪を視察した。楽しかった。

十月五日(火) 六日目

ここで本当にお別れだ。祖国の母の胸に戻った。

(この原稿は中国語の原文をアジアカ뮤니ケーションズ松岡寛美さんに翻訳していただいたものです。)

岡山県日中教育交流協議会企画

中国上海万博と九寨溝・黄龍の旅



中国国家館

岡田浩朗会長を団長とする協議会訪中団十二名が昨年九月十八日から二十四日まで、万国博覧会にぎわう上海と中国随一といわれる景勝地、九寨溝・黄龍を訪問し友好と見聞を深めた。

上海市では教育交流で長年に渡りお世話になっている上海市人民対外友好協会と懇談。当面の情勢や今後の交流等について幅広く意見交換を行った。

参加団員から寄せられた感想文を掲載する。

(協議会事務局)

感想文

九寨溝・黄龍の旅

岡山市教委生涯学習課 宗政 富美男

岡山を出発して四日目、今回の旅行のメインである九寨溝・黄龍へ。

九寨溝は四川省西北部、省都の成都から約四百五十kmの地点にあり、総延長六十kmでY字型の渓谷である。九つのチベット族の集落(寨)があったことからこの名がついた。

入口からは環境に配慮した天然ガスで走る専用バスで移動する。

箭竹海から熊猫海へ。次に訪れた五花海では、澄み切った青色の水の中を泳ぐ魚の姿が何処までもくっきりと見える。この透明感、石灰岩質の地層から出る炭酸カルシウムの浄化作用によるものだが、湖底に眠る倒木も腐ることはない。

圧巻は珍珠灘瀑布。その水量とカメラに入りきれない三百mを超える滝の幅にただだ圧倒されるばかりで、辺り一面に飛び散る水しぶきはまるで真珠のようであった。

九寨溝で目にした自然美に興奮冷めやらぬまま、翌日五時起きでバスに乗り黄龍へ。途中の休憩所で酸素ポンペを購入。この後四千mの峠越

えに大変役だつことに。

黄龍は、九寨溝から少し離れた玉翠山のふもと標高三千四百m辺りにある奇景である。石灰岩質の三千五百余りの彩池が鱗のように重なり、黄色い龍がかけ上る姿に見えるところからこの名が付けられた。

ロープウエーで上の駅まで一気に昇り、ここからは木製の遊歩道を徒歩のみで移動。途中出会った野生のリスやエーデルワイスが、旅の疲れを癒してくれる。

歩き始めて三十分、黄龍最大の石灰華段である五彩池が目の前に広がった。エメラルドグリーンの水をたたえたその景観は、この世のものとは思えない息をのむ美しさである。ここに三つの黄龍寺が建っているか



九寨溝文化村



黄龍に咲くエーデルワイス

最後に、このような素晴らしい旅に参加させていただけたことに感謝しつつ、この稿を終えたい。

中国旅行

協議会会員 赤松千壽

らであろうか、小さな子どもを連れた多くの巡礼者に出会った。山の中腹にはチベット族の人たちが飾った色とりどりの布が翻り、旅の安全を見守ってくれているようであった。

五彩池を堪能した後は、感動の余韻を楽しみながらのんびりと下山。帰路の途について。

今回の旅行を通して学んだことは、世界遺産登録から観光立国を目指す中国の国家戦略のもと、全行程にわたり木製の遊歩道が整備され、多くの人の手によって徹底管理されていたことである。また、トイレも数多く設置され、排泄物をその都度ビニール袋に包んで処理する等、環境への配慮もなされていた。

世界遺産登録地の重みというか素晴らしさを改めて実感。これに対して、その雄姿においては勝るとも劣らない日本の富士山が、溢れるゴミで未だに登録が出来ていないことは、日本人として残念でならない。



黄龍五彩池

私は、六十八歳の今年、初めて海外旅行に出かけました。誘って下さる人があって、中国に旅行しました。旅は、楽しいばかりで、食べ物もおいしく、いろいろ珍しいものもいただきました。特に、四川料理の辛さは衝撃的で、後を引きそうな美味しさでした。

樂山大仏は、とにかくスケールの大きな中国らしい磨崖仏でした。一

つの山をそっくりそのまま刻んだ巨大な座仏像で、造った人々や守り続けてきた人々の苦労は想像を絶するものがあつたと思われました。

私達は遊覧船で河から楽々と見物しましたが、仏像の両側の断崖に設けられた何百段もの、曲がりくねって急峻な棧道を、自分の足で上り下りして、お詣りする人の多さに驚かされました。私には、ちょっと信じられない光景でした。

武侯祠には三国志の英雄達が祀られていました。劉備、関羽、張飛、そして諸葛孔明の像が安置され多くの人々が参拝していました。

武侯とは孔明のことで、劉備は漢の昭烈と呼ばれる。つまり本来なら昭烈祠と呼ばれるべきが、孔明の方が人気が高かったため、武侯祠と呼ばれてきたようです。ちよつと劉備が可哀そうな気もしますが、私の記憶でも三国志といえは、孔明のエピソードばかりなので、当然のような気もしました。

世界自然遺産の九寨溝も黄龍もさすがと思わせる素晴らしさでした。豊かな水の流れが数々の絶景を形作っていました。

澄み切っていて、周りの景色や光の加減で色彩を変える湖と、その水が森林一面に流れ、高い断崖を流れ落ちて雄大な瀑布となる、そんな光景の連続が九寨溝。長い年月に蓄積



落差20mの則查注溝瀑布

した黄色い石灰岩が千枚田のような数多くの池を作り、龍の鱗のような模様の岩肌を急流が流れ落ちる、そんな光景の連続が黄龍。どの一部分を切り取っても一幅の水墨画になりそうな美しさでした。

どちらの名勝区にも立派な木道が設けられていました。木道は自然を壊すことなく、安全に観光客を見所の端々へ導き、しかも自然に違和感なく溶け込んでいるところが、素晴らしいと思いました。

この度の中国旅行で、海外旅行の食わず嫌いを猛反省し、機会があればまた行きたいと思いました。特に中国の北京・桂林あたりにはぜひ一度は行ってみたいと思います。しかし、中国も住む所にあらず、住むなら日本、それも岡山と実感して帰って来ました。

旭川荘厚生専門学院

●旭川キャンパス

児童福祉科

第一看護科 第二看護科

〒703-8560 岡山市北区祇園866

電話(086)275-0145

FAX(086)275-3283

●吉井川キャンパス

介護福祉科

福祉研究科

精神保健福祉科

〒704-8126 岡山市東区西大寺浜610

電話(086)944-6911

FAX(086)944-6922



岡山商科大学孔子学院

21世紀はアジアの時代、中国語を学ぶ絶好のチャンスです。

中国政府認定講師による中国語講座開催中!

☆HSK3級合格を目指す長期生コース

15週学習を通じて、HSK試験(中国語能力認定試験)3級合格を目指します!

※会社や団体への出張講座、キッズ(子供向けコース)も開講中!

・お問い合わせ/お申し込みは

岡山商科大学孔子学院 〒700-8601

岡山市北区津島京町2丁目10-1

TEL 086-252-0642(内線521) FAX 086-255-6947

<http://www.osu.ac.jp>

中国語講座日程(2010年前期)

クラス	曜日
入門Ⅰ	水曜(昼)・金曜(夜)
入門Ⅱ	水曜(夜)
初級Ⅰ	火曜(夜)・木曜(夜)
初級Ⅱ	金曜(夜)
中級Ⅰ	水曜(昼)・火曜(夜)
上級Ⅰ	木曜(夜)

学校法人 中国学園

中国学園大学

●現代生活学部人間栄養学科 ●子ども学部子ども学科 ●大学院(現代生活学研究科)

中国短期大学

●総合生活学科

●保育学科

●英語コミュニケーション学科

●音楽科

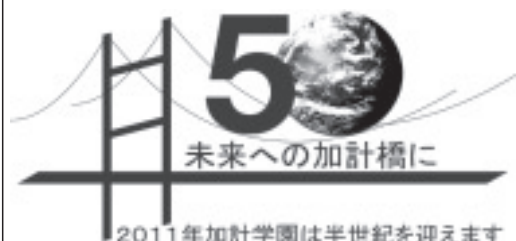
●情報ビジネス学科

●専攻科

〒701-0197 岡山市北区庭瀬83番地 TEL086-293-1100 FAX086-293-3993

<http://www.cjc.ac.jp/> E-mail t-bosyu@cjc.ac.jp

岡山理科大学附属 中学校 中高一貫コース!



学校法人 加計学園 岡山理科大学附属中学校

〒700-0005 岡山市北区理大町1番1号

TEL : (086) 256-8517 FAX : (086) 256-8518

学校法人 加計学園 中高入試広報室

TEL : (086) 256-8527 FAX : (086) 256-8526

E-mail : kouho@ridaifu.ed.jp



(財)全国高等学校体育連盟協賛 インターハイ協賛
(財)日本中学校体育連盟協賛 (財)日本中学校体育連盟シボルマーク付

kanko. E L L E MICHEL KLEIN
カンコ・スチールウェア
Sprinter Reebok SPALDING
TRUE TO THE GAME

OZAKI

尾崎商事株式会社
岡山営業所
〒701-0206 岡山県岡山市南区山田2316-28
TEL 086(292)8255
FAX 086(292)8266

尾崎商事株式会社 <http://ozaki.jp/>
本社 〒700-0024 岡山県岡山市北区駅元町15番1号 岡山リットシティビル5F
お客様相談室 0120-712983

赤ちゃんからお年寄りまで
一人ひとりの「よく生きる」のために。

Benesse®

事業領域

教育・生活・シニア・介護・語学・
グローバル人材教育

くわしくはホームページをご覧ください。

<http://www.benesse-hd.co.jp/>

株式会社ベネッセホールディングス

岡山本社 〒700-0807 岡山県岡山市北区南方3-7-17
東京本部 〒206-0033 東京都多摩市落合1-34

Benesseは、ラテン語の「Bene(よく)」と「esse(生きる)」を一語にした造語です。



学校法人 志学学園／眼鏡技術専門学校

ワールド オプティカル カレッジ

メガネに関する「専門知識」と「最新技術」を修得した
スペシャリスト 眼鏡技術者を育成

第一眼鏡科：高校卒業以上 3年制

第二眼鏡科：専修学校・短期大学卒業以上 2年制

(学校見学は随時受付けております)

〒703-8282 岡山市中区平井6-6-11 TEL:086-272-5566 FAX:086-272-4422 0120-88-8233
<http://www.woc.ac.jp> E-mail woc@woc.ac.jp

おかげさまで22周年！

アジア・コミュニケーションズはあなたのツアーデスク！

- 岡山発着航空機の手配いたします！
中国東方航空で上海・大連・北京へ！
大韓航空で韓国ソウルへ、仁川空港経由で中国各地へ！
- お得なパッケージツアー（上海・大連・青島・など）
- 特徴あるこだわりのツアー
シルクロード、チベット、雲南、内蒙古など
皆様のご要望に沿った旅行企画をいたします。
安心の添乗員同行ツアーです
- 日中教育交流のサポート
企画から旅行実施、添乗までサポートします。

○お気軽にお問合せ下さい

アジアコム・ツアー



株式会社アジア・コミュニケーションズ
ASIA.COM 観光庁長官登録旅行業第1816号 ©JATA正会員 IATA公認
岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル4F(〒700-0902)
TEL (086) 231-0334 FAX (086) 225-5041
<http://www.asicom.co.jp> Eメール info@asicom.co.jp



岡山県日中教育交流協議会

岡山県日中教育交流協議会 会報 『悠久』 第34号

発行：平成23年2月

発行者：岡山県日中教育交流協議会 編集委員会

〒700-0902 岡山市北区錦町5-15 南田辺ビル2階

TEL (086) 225-5083 FAX (086) 225-5041

印刷所：旭総合印刷株式会社